



滋賀県看護協会 保健師職能委員会だより

令和3年3月発行

新型コロナウイルス感染症に始まったこの一年を総括し、みなさまにご協力いただいたアンケート調査結果をご報告します。

新型コロナウイルス感染症による保健活動への影響と自治体保健師キャリアラダーの活用に関する実態調査

新型コロナウイルス感染症を経験し、今後保健師に必要と考えられるスキルは何か？ その力量形成の指標となるキャリアラダーは、効果的に活用できているだろうか？

県内 348 名の保健師からいただいた回答をもとに、現時点で考えられる課題と対策を取りまとめました。別紙報告書をご覧ください、ぜひ、それぞれの組織でも話し合ってみてください。

会議・研修会報告

移行期保健師研修(事例検討会ファシリテーター養成研修)



- ◆開催日時: 令和2年11月9日
- ◆講師 : 武蔵野大学 中板育美教授を講師

キャリアラダーA-3を目指す保健師 14 名が事例検討を学びました。

午前中は、中板先生の講義と DVD で事例検討の進め方を理解し、午後からは 2 グル

ープに分かれて架空の事例にて事例検討を体験し、グループワークで共有しました。

受講者から、『実際に事例検討をして、事例に対しての自分の考え方や、関わり方の癖に気づく事ができた。また、事例に関してのグループメンバーの意見を聞くことで、対象の"強み"を見つける様々な視点も学ぶ事ができた。ファシリテーターはメンバーの対話を促し、気づきを深めるサポートをしていく役割があるので、研修を生かし、所属でも積極的に事例検討をして、事例の理解ができれば良い。』と声が聞かれました。



令和2年度 都道府県看護協会母子のための地域包括ケアシステム推進会議

- ◆開催日時: 令和2年2月8日 13:00~17:00 (ZOOMによるWEB会議)

所感

母子のための地域包括ケアシステムを推進する会議で、都道府県看護協会役員や同助産師職能委員長、同保健師職能委員長が参加した。国の様々な妊娠・出産・産後を支援するメニューについての説明や、母子のための地域包括ケア病棟モデル事業の結果報告、香川県での地域の取り組み報告、グループディスカッションがあった。出産数が少なくなり、病院の統合が進みつつある中で、住所地と違う遠方まで出産に行かねばならない現実はどう向き合えばよいのだろう。少子化の中での地域ケアシステムを推進することの難しさを感じた会議だった。

令和2年度滋賀県保健師コンサルテーション研修フォローアップ研修会および統括保健師研修会

◆開催日時: 令和3年2月17日(金) 13:20~16:30 (集合形式とWEB 併用)

◆内容 : 「保健師活動の向上および人材育成計画の実効を目指して ~中堅保健師コンサルテーション研修を考える~」

受講者: 統括保健師補佐・コンサルタントの三者からの報告を受け、「中堅保健師グループ」と「統括保健師グループ」に分かれてグループワークを行いました

グループワークから

〈中堅保健師 G〉

- ・受講後、そんな急展開での変化はない。
- ・政策提言には及ばないが、主体的にデータを作ったり仕事への向かい方が変化した。
- ・「教えてもらう」と思ってコンサル研修に来たけれど違った。
- ・随所でコンサルタントの言葉が浮かんでくる。思い出しながら、反芻しながらの今である。
- ・コロナ対策で陽性者のケース分析を量的・質的に行い、政策提言までを実施した。

〈統括保健師 G〉

- ・大変そう、行きたくない」は指導者側にもあるが、受講した保健師は活かしている。
- ・大変だが、考えるプロセスとしては大切。
- ・受講者にも、最後まで「業務」にこだわる人がいる。「業務」からどう脱却するか。「保健師活動」として捉えられているか？

所感

「研修の負担感は必ずある。行ってどうだったか？ 受講者は、後輩に“しんどかった”を見せるのではなく、“行ってよかった”を見せること。職場で研修に送り出すときにしっかりと研修目的をおさえ、受講後には学びを活かせる場を与えるということが、どこまでできていたか？ 研修を生かせる環境づくりは、まだまだできることがあると実感した。

- お勧め BOOKS 読んでみたら良かったよ! -



「支援者・家族のためのひきこもり相談支援実践ガイドブック

- 8050 問題、発達障害、ゲーム依存、地域包括、多様化するひきこもり支援 -」

原田豊著 福村出版

平成31年3月に総務省から発表されたひきこもりに関する調査結果や、ひきこもりが当事者となった事件をきっかけに、広く世間から注目を浴びるようになったのではないのでしょうか。

今回紹介する本は、ひきこもりに関する基本的な知識や、実践で役立つ具体的な支援方法について事例を交えながら学ぶことのできるとても分かりやすい本です。

特に私がおすすめしたいのが「第5章 発達障害」です。日々のケースワークを通じて「ひきこもりと発達障害にはきっと関係があるのだろう」と漠然と感じていたので、この本を読んで、発達障害に関する一般的な知識や、発達障害を有するひきこもり支援における課題と対策について学べたことで、経験知と形式知が結びつき、スッと自分の中に落とし込むことができたように思います。

ひきこもり支援に悩んでいる、興味関心があるという方は、是非一度読んでみてください。

発行: 公益社団法人 滋賀県看護協会(保健師職能委員会)

TEL: 077-564-6468